

徳山工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	西洋建築史	
科目基礎情報							
科目番号	0023		科目区分		専門 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	土木建築工学科		対象学年		2		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	西田雅嗣他、「建築の歴史；西洋・日本・近代」、2003年						
担当教員	中川 明子						
到達目標							
1. 建築様式、都市の変遷と代表的建築様式の特徴を理解する。 2. 歴史的に重要な建築家や思想家についての知識を深める。 3. 「世界に通用する」技術者を目指す者として、西洋の建築文化への理解を深め、近代建築成立への理解へ一助とすると共に、世界各国の建築文化を自ら学ぶ姿勢を養う。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
建築様式、都市の変遷について	建築様式、都市の変遷について理解し、説明できる。		建築様式、都市の変遷について理解している。		建築様式、都市の変遷について理解できない。		
代表的建築様式の特徴について	代表的建築様式の特徴を理解し、説明できる。		代表的建築様式の特徴を理解している。		代表的建築様式の特徴を理解していない。		
歴史的に重要な建築家や思想家について	歴史的に重要な建築家や思想家についての知識を持ち、説明できる。		歴史的に重要な建築家や思想家についての知識を持っている。		歴史的に重要な建築家や思想家についての知識がない。		
学科の到達目標項目との関係							
到達目標 A 2							
教育方法等							
概要	① 建築技術者として必要とされる常識的知識を養うことを目的とする。 ② 建築の工法、構造の変化に伴う建築の変遷を理解する。						
授業の進め方・方法	視覚的理解を助けるため、代表事例などはプロジェクター投影を活用する。視聴覚教材も利用する。授業内容を理解するために、予習復習のための学習ノートを活用する。その提出は期限を決めて行う。						
注意点	成績評価：必須レポート（年表シート）20%、中間レポート40%、期末レポート40%（いずれも、提出期限を守るかどうかとも評価対象とする。）を原則とする。 合格基準：60点以上を合格とする。 再試験：実施する。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	【授業内容】 西洋建築史ガイダンス 【事後学習】 年表シート整理（目安1H）		西洋建築史を学ぶ意義、建築の発生と発達の原因についての説明、建築史、都市史変遷の概要の説明、学習ノート使用法のガイダンスを理解できる。		
		2週	【授業内容】 古代の建築1：古代オリエント建築・古代エジプト建築1 【事後学習】 年表シート整理（目安1H）		古代オリエント建築・古代エジプト建築について、その工法、時代背景を理解できる。		
		3週	【授業内容】 古代の建築2：ギリシア建築 【事後学習】 年表シート整理（目安1H）		古代ギリシア建築、都市計画、その工法、時代背景の説明を理解できる。		
		4週	【授業内容】 古代の建築3：ローマ建築 【事後学習】 年表シート整理（目安1H）		古代ローマ建築、都市計画、社会基盤整備、その工法、時代背景の説明を理解できる。		
		5週	【授業内容】 中世の建築1：古代末期・中世初期の建築・ビザンツ建築 【事後学習】 年表シート整理（目安1H）		初期キリスト教時代建築・ビザンツ建築の紹介。その時代背景の説明を理解できる。		
		6週	【授業内容】 中世の建築2：ロマネスク建築 【事後学習】 年表シート整理（目安1H）		ロマネスク建築の紹介。その時代背景の説明。様式、構造変遷の説明を理解できる。		
		7週	【授業内容】 中世の建築3：ゴシック建築 【事後学習】 年表シート整理（目安1H）		ゴシック建築の紹介。構造変遷、彫刻についての説明。その時代背景、状況の説明を理解できる。		
		8週	中間レポート作成		古代から中世までの西洋建築史について、年表シートとは別途、レポートにまとめることができる。		
	2ndQ	9週	【授業内容】 近世の建築1：ルネサンス建築 1 【事後学習】 年表シート整理（目安1H）		イタリア・ルネサンス建築の代表的建築物、建築家の紹介、その時代背景、状況の説明を理解できる。		
		10週	【授業内容】 近世の建築2：ルネサンス建築 2 【事後学習】 年表シート整理（目安1H）		フランス・ルネサンス建築、ヨーロッパ各国のルネサンス建築の代表的建築物、建築家の紹介、その時代背景、状況の説明を理解できる。		
		11週	【授業内容】 近世の建築3：バロック建築1 【事後学習】 年表シート整理（目安1H）		イタリア・バロック、フランス・バロック建築の代表的建築物、街区計画、建築家の紹介、その時代背景、状況の説明を理解できる。		
		12週	【授業内容】 近世の建築4：バロック建築2 【事後学習】 年表シート整理（目安1H）		イギリス・バロック建築の代表的建築物、街区計画、ロココの代表的建築物、その他、ヨーロッパ諸国に於けるバロック建築について建築家の紹介、その時代背景、状況の説明を理解できる。		
		13週	【授業内容】 近世の建築5：新古典主義建築 【事後学習】 年表シート整理（目安2H）		新古典主義建築の代表的建築物、建築家の紹介、その時代背景、各国の状況の説明を理解できる。		
		14週	【授業内容】 近世の建築6：歴史主義建築 【事後学習】 年表シート整理（目安2H）		歴史主義建築の代表的建築物、建築家の紹介、その時代背景、各国の状況の説明を理解できる。		
		15週	期末レポート作成		近世における西洋建築史について年表シートとは別途、レポートにまとめることができる。		
		16週	レポートについてのフィードバック		前期の学習状況を振り返ることが出来る。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	グローバルゼーション・異文化多文化理解	グローバルゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	2	
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	1	
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	2	
				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	1	
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	計画・歴史	モジュールについて説明できる。	2	前3
				古代(例えば、エジプト、オリエント、エーゲ海、ギリシャ、ローマなど)の特徴について説明できる。	4	前2,前3,前4
				中世(例えば、ビザンチン、イスラム、ロマネスク、ゴシックなど)の特徴について説明できる。	4	前5,前6,前7
				近世(例えば、ルネサンス、マニエリスム、バロック、ロココなど)の特徴について説明できる。	4	前9,前10,前11,前12,前13,前14
評価割合						
		中間レポート	期末レポート	年表シート課題	合計	
総合評価割合		40	40	20	100	
基礎的能力		10	10	0	20	
専門的能力		30	30	15	75	
分野横断的能力		0	0	5	5	